

令和6年7月19日
島根県立出雲高等学校
教諭 山根 宏樹
TEL:0853-21-0008
FAX:0853-22-7855
メール:izumokoko@pref.shimane.lg.jp

出雲高等学校SSH事業3年生各種課題研究発表会の実施について

この度、文部科学省が指定するSSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業の成果を、地域の皆様に広く還元・提案し、本校生の学びをより一層深める活動を下記のとおり実施します。

内容は、3年生が昨年度から取り組んだ課題研究成果を、研究内容によって地域の小・中学生や島根大学教員の方々に分かりやすく紹介したり、地元行政の方々に政策提言したり、山陰地区の高校生が、学校や地域を越えて研究成果の発表を行ったりするもので、出雲市役所・島根大学・島根県立大学のご協力をいただいで実施します。

記

1 内容

① キッズのためのスーパーサイエンス

本校オープンスクールに参加した中学生を対象として課題研究の面白さを伝えるプレゼンを行う。

② 地域創生に向けた高校生からの提案

出雲市長や出雲市職員へ提案を行うとともに、意見交換・懇談会を行う。

③ 島根大学におけるグローバルセッション

島根大学教員へのプレゼンをオンラインで行うとともに、意見交換を行いながら国際社会と自らの関わりについて考える。

④ 山陰探究サミット

山陰地区の高校生が、探究学習の研究成果の発表を行う。

2 日時・場所

① 7月25日(木) 9:50~12:00 出雲高等学校内 各会場

7月26日(金) 9:50~12:00 出雲高等学校内 各会場

② 7月29日(月) 9:00~11:30 出雲市役所 各会場

③ 7月29日(月) 10:00~14:00 島根大学松江キャンパス 教養講義室棟1号館202教室

④ 7月29日(月) 13:00~16:30 平田文化会館 各会場

※時間は生徒が発表を行う時間帯

3 その他

発表内容等詳細は別紙参照

4 問い合わせ先

島根県立出雲高等学校 教諭 山根 宏樹(TEL:0853-21-0008、FAX:0853-22-7855、
メール:yamane-hiroki2@edu.pref.shimane.jp)

① 令和6年度 「キッズのためのスーパーサイエンス」実施要項

1 取組概要

第2学年で行った課題研究の内容を、地域の中학생向けに展示・プレゼンテーションすることを通して、研究成果を地域・社会に還元する。また、第2学年で行った課題研究の内容を動画として蓄積することで、次学年以降の生徒たちへの研究活動の継承を図る。

2 日時

オープンスクールと同時進行
 令和6年7月25日(木) 9:00~12:30
 26日(金) 9:00~12:30

3 会場

○オープンスクールでの課題研究発表 : 2号館 1~3階 10教室を使用
 (2-5、2-6、2-7、2-3、2-2、2-1、1-4、1-5、1-6、1-7)

○点呼および振り返り : 物理実験室、生物実験室、化学実験室、地歴公民教室

4 発表生徒

- 3年理数科、普通科理系・文系 計40班
- ・理数科 5班
 - ・数学・物質 9班
 - ・物質 9班
 - ・生命・食農 6班
 - ・生活 9班
 - ・文系 2班

5 活動内容

班を発表日によって2つのグループに分け、オープンスクールで中學生に向けて発表する。Xグループ(7月25日発表)、Yグループ(7月26日発表)
 さらにそれぞれのグループを①、②に細分し会場を別にして点呼や準備を行う。

日	時間	X グループ①②	Y グループ①②
7月25日 (木)	9:00~9:10	点呼 本日の内容確認 発表準備	活動なし
	9:10~9:45	各会場に移動し、発表準備	
	9:50~10:50	発表(中學生 5A 向け)	
	11:00~12:00	発表(中學生 5B 向け)	
	12:00~12:30	振り返りシートの記入	
26日 (金)	9:00~9:10	活動なし	点呼 本日の内容確認 発表準備
	9:10~9:45		各会場に移動し、発表準備
	9:50~10:50		発表(中學生 6A 向け)
	11:00~12:00		発表(中學生 6B 向け)
	12:00~12:30		振り返りシートの記入

6 オープンスクールにおける課題研究発表の方法

- ① 各教室に2つの班を配置する（1つの班の教室もある）。
- ② ポスター発表を行う（発表5分＋質疑応答2分、計7分程度を想定）。
- ③ 中学生が聴講する教室は指定（自由選択ではない）。本校教員・生徒が誘導する。
- ④ 中学生は各教室で15分間に2つの発表を聴講した後、次の発表教室へ移動する。
（7分程度で1つの班の発表を聴講した後、同じ教室の他班の発表を聴講する）
※ 発表の区切りは放送によって周知する

例 はじめに学習室 2-5 で発表を聴講する場合

2年5組教室	7分程度 1つの班の発表を聞く
	7分程度 同じ教室でもう1つの班の発表を聞く
移動（同じ階の2年6組に移動する）	
2年6組教室	7分程度 1つの班の発表を聞く
	7分程度 同じ教室でもう1つの班の発表を聞く
移動（同じ階の2年7組に移動する）	
2年7組教室	7分程度 1つの班の発表を聞く
	7分程度 同じ教室でもう1つの班の発表を聞く

② 令和6年度「地域創生に向けた高校生からの提案」実施要項

1 取組概要

第2学年で行った課題研究についてその研究成果を地域創生に向けた出雲市への提案としてまとめ、出雲市役所職員の方へのプレゼンテーションやディスカッションを通して地域社会に還元する。

2 日時

令和6年 7月29日(月) 8:30~12:00

3 会場

出雲市役所

4 発表区分

カテゴリー	班	人数	研究テーマ
Ⅰ 災害・多文化共生 (12人) 市民応接室	環6A	4	出雲高校を使いやすい避難所にしよう!
	多7B	4	出雲高校で『制服の選択の自由』を実現させるにはどうしたらよいか
	多6C	4	どうして男の人は女の人がかわいいと思うものを持っていないのか
Ⅱ 政治・定住 (19人) 庁議室	地7B	5	出雲市に定住してもらうにはどのようなことが必要なのか
	環7A	5	プラスチックゴミの削減に対して出雲市・企業はどんな対策をしているのか
	環6B	4	出雲の若者の農業への関心を高めよう
	地6A	5	出雲の特産品と米粉でレシピ開発
Ⅲ 地方活性化 (21人) 大会議室	地8B	6	出雲市の魅力を伝えるには
	環7B	5	島根県をよりよくするための観光環境とは
	地8C	4	アニメの聖地巡礼で出雲の観光業を促進するには
	地6B	6	スサマジの集客数を増やすためには

5 発表方法

- ・パワーポイント等を使って出雲市職員の方に出雲市への提案をプレゼンテーションする。
- ・プレゼンテーション後、市役所職員の方とディスカッションを通して意見を述べる。

6 活動概要

日程	時間帯	活動場所	活動概要
7月29日(月)	8:30~10:50	出雲市役所	出雲市への提案(プレゼンテーション・ディスカッション)
	10:50~12:00		プレゼン・ディスカッション後のふりかえり学習

7 活動詳細

時間	活動内容
8:30	<p>○出雲市役所集合（集合場所：出雲市役所庁舎東側広場） ※自転車置き場：出雲市役所庁舎東側広場の庁舎側に並べる</p> <p>○東口より入りロビーにて当日の概要説明（石金）、点呼（各担当教員）</p> <p>○各会場に分かれる ※全て3階。会場ですぐに機材等の準備。</p> <p>＜Ⅰ 災害・多文化共生＞市民応接室 ＜Ⅱ 政治・定住＞ 庁議室 ＜Ⅲ 地方活性化＞ 大会議室 ※各会場に担当教員がつきます。</p>
9:00	<p>○出雲市への提案（プレゼンテーション・ディスカッション）①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表担当グループのプレゼンテーション 10分程度 ・市担当職員からの政策説明・プレゼンに対する講評 5分程度 ・ディスカッション 5分程度 計約20分
9:20	休憩・発表準備
9:30	<p>○出雲市への提案（プレゼンテーション・ディスカッション）②</p> <p>※同じ流れ</p>
9:50	休憩・発表準備
10:00	<p>○出雲市への提案（プレゼンテーション・ディスカッション）③</p> <p>※同じ流れ</p>
10:20	休憩・発表準備 ※カテゴリーⅠはふりかえり学習を開始
10:30	<p>○出雲市への提案（プレゼンテーション・ディスカッション）④</p> <p>※同じ流れ</p>
10:50	<p>【発表会場にてふりかえり学習】※発表が全て終了後すぐに始める。時間は前倒しで。</p> <p>① 各グループで講評やディスカッションの記録をまとめた資料を作成する。</p> <p>② 各自でふりかえりシートを記入する。</p>
12:00	<p>市役所にて解散</p> <p>※ふりかえり学習終了後会場ごとに解散。時間が前倒しになる会場もある。</p>

③ 令和6年度「島根大学におけるグローバルセッション」実施要項

1 目的

第2学年で行った課題研究内容を振り返り、その成果を島根大学に在籍する留学生等に英語で発表し、意見交換することを通して、将来、グローバル・リーダーとしての生きるための行動力を養う。

2 日程・場所

7月29日（月）8：00～15：30

島根大学松江キャンパス教養講義室棟1号館 202教室

3 対象生徒

出雲高校第3学年普通科文系生徒7班（32名）

※チーム・グループ編成及び発表タイトル（仮）

チーム	班名	人数	発表タイトル
A班 19名	多7A	5	「なぜ出雲大社は現在の場所に建てられたのか」
	地7A	4	「神迎祭を市内・市外の人へ知ってもらうために私たちは何ができるだろうか」
	多6A	4	「島根県の方言研究」
	多6B	6	「小豆雑煮の考察」
B班 13名	多8A	4	「わたしたちにできる郷土料理の継承方法とは」
	多8C	4	「幼児の野菜への関心を高めるには」
	多8D	5	「百人一首から読み解く恋愛事情」

4 活動概要

8：30 集合（出雲高校坂下駐車場）

8：40 出雲高校出発（貸し切りバス）

9：40 島根大学 到着

10：00 片岡副学長（グローバル化推進担当）挨拶 他、諸連絡

10：10 出雲高校生徒による課題研究成果発表

グループ発表5～8分+質疑応答、意見交換7分

コメンテーター：教育学部

香川 奈緒美 准教授

外国語教育センター

岡本 シェームズ マイケル 講師

Tu Stachus Peter 講師

外国人留学生 教育学部 ALBERTO IVAN FERRAO（モサ・ンヒーク）

RAGINI KUMARI（イント）

発表① 多7A, 発表② 地7A, 発表③ 多6C, 発表④ 多6B

11：10 休憩

11：20 発表⑤ 多8A, 発表⑥ 多8C, 発表⑦ 多8D

12：05 昼休憩（教室での飲食可、また学生食堂の利用可能）

13：00 島根大学教員によるミニ講義（20分×2名）

講師： 外国語教育センター 岡本シェームズ マイケル 講師

Tu Stachus Peter 講師

13：40 島根大学生による留学体験発表（20分×1名）

教育学部4年生 瀧 由之（たき よしゆき）（出雲高校出身の学生です）

14：00 岡本シェームズ マイケル講師による講評

14：10 振り返り（出雲高校の引率教員による）

14：30 島根大学 出発

15：30 出雲高校 着 解散

④ 令和6年度「山陰探究サミット」の実施要項

1 目的

探究学習（地域課題解決型学習）を推進している山陰地区の高校生が、学校や地域を越えて研究成果の発表を行うことを通して、相互に研究内容を共有し、学びを深めるとともに、研究成果を広く普及・還元する。

2 日時

令和6年7月29日（月）10：30～17：00

3 会場

平田文化会館（島根県出雲市平田町2112番地1 Tel：0853-63-5030）

4 参加校

島根県立松江南高等学校（8名）、島根県立松江東高等学校（2名）、島根県立益田高等学校（10名）、鳥取県立鳥取西高等学校（2名）、鳥取県立米子東高等学校（2名）、学校法人鶏鳴学園青翔開智高等学校（1名）、広島県立大崎海星高等学校（5名）島根県立出雲高等学校（31名）

5 出雲高校参加予定班

出雲高校理数科・普通科3年31名（7班）

○発表班と研究テーマ

- 生活 2A 「辛さを和らげる食べ物は何だろう？」
- 生命 3A 「水の硬度と液体肥料の関係性」
- 物 3B 「食べられる日焼け止めを作成することは可能なのか？」
- 生物① 「ヨモギのアレロパシーによる宍道湖の水生植物の問題の解決
- 地学 「斐伊川におけるうろこ状砂州の形成と要因
- 多 7C 「一畑薬師における奉納舞踊の起源」
- 地 8A 「米の消費量を増やすには」

6 日程

13：00	～	13：10	開会行事
13：15	～	14：45	分科会での発表
14：45	～	15：00	休憩（審査員による協議も含む）
15：00	～	15：15	講評・結果発表
15：15	～	15：25	第1会場へ移動
15：30	～	16：20	全体会での発表（各会場の優秀班が全体発表）
16：20	～	16：30	全体講評

7 発表形式

- (1) 4会場に分散し、分科会形式で行う。
- (2) 1班約12分(発表8分+質疑応答3分+準備、片付け1分)
- (3) 各校の発表班(発表者)が視聴覚機器(パワーポイント等)を利用した口頭発表を行い、聴講者は各発表に対し質疑応答をする。
- (4) 聴講者は各班の発表に対して受付の際に配布された付箋にコメントを記入し(受付の際に付箋を配付)、休憩時間などを利用して発表班(発表者)の模造紙に貼る。
※付箋は出雲高校で準備
- (5) 各会場で優秀班を審査により1班選定し、選ばれた班は第1会場で全体発表。

8 進行

出雲高校生徒会による司会進行 ※出雲高校新聞部の撮影あり